

令和8年度 スクール AI 導入仕様書

1. 業務目的

本業務は、生成 AI を活用した対話型学習環境を矢板市内の小・中学校に導入し、児童生徒の個別最適な学びの実現、および教員の指導業務の高度化・効率化を図ることを目的とする。

2. システム要件

(1) システム概要

・提供形態

インストール不要のクラウド型 Web システムであること。

・動作環境

OS: Windows11, macOS, ChromeOS

ブラウザ: Edge, Chrome, Safari

・冗長性

複数サーバー構成により、可用性が確保されていること。

・稼働時間

年間を通して利用可能であること(保守時を除く)。

(2) アカウント・権限管理

・認証

ID/パスワード認証に加え、SSO(シングルサインオン)によるログインに対応すること。

・一括管理

児童生徒および教職員のアカウント管理において、CSV ファイルによる一括登録・更新が可能であること。

・権限制御

学校管理者によるアカウントの停止・削除等の運用管理ができること。

(3) 情報セキュリティ・プライバシー保護

・データ保護

ユーザー端末上に個人情報を残さない仕組みであること。

・AI 学習の制限

入力データが AI モデルの学習(再学習)に利用されない仕様であること。

・外部対策

脆弱性対策、不正アクセス防止(トークン実装等)を講じていること。

・データ保管

障害発生時の資産退避先は国内であること。

・契約終了時

契約終了後は速やかにデータを消去し、復元不可能な状態にすること。

3. 機能要件

(1) 児童生徒用機能

- AI 対話

生成 AI による個別対話、学習支援。中断後の継続学習、定型文による簡易対話機能。

- 学習補助

音声入力・出力(日・英対応)、発音評価、画像読み取り(OCR)、選択肢問題への回答機能。

- 対話ログ

過去の対話履歴の参照、印刷、コピー機能。

- 安全制御

不適切な文言の入力を制限するフィルタリング機能を実装すること。

(2) 教員用機能(LMS)

- AI カスタマイズ

目的(英会話、探究学習等)に応じたプロンプト設定、音声速度調整、フォーム作成、複数 AI モデルの切り替え機能。

- 共有機能

作成した AI アプリを校内外の教職員で共有できること。

- 学習履歴分析

対話履歴のリアルタイム把握、AI による要約・ワードクラウド化による分析支援。

- 指導アドバイス

対話データに基づく生徒の特徴抽出および指導アドバイスの提示機能。

- レポート出力: 学習状況(回数、時間、正答率等)の CSV 出力機能。

4. 運用・サポート体制

- サポート

システム障害時の対応フローが明確であること。

カスタマーによる支援、問い合わせから 24 時間以内の一次回答対応が可能であること。

- アップデート

生成 AI 技術の進展に合わせ、継続的な機能アップデート。

5. プロポーザルにおける評価項目(推奨)

本業務の選定にあたっては、技術要件を満たすことに加え、以下の視点を評価項目に盛り込むことを推奨します。

- 「AI を使いこなす」指導力

教職員独自にプロンプトを作成し、学校独自の教材として蓄積・共有できる仕組みの充実度。

- 教育現場への定着支援

単なるツールの提供にとどまらず、児童生徒や教職員向けの研修や活用事例の共有など、現

場定着に向けた伴走支援や家庭学習や放課後学習での活用を促進するための提案。

- 不適切な対話への対応力

児童生徒が安全に利用できるためのフィルタリング精度と、万が一の不適切利用発生時の教職員への即時通知フロー。

- 指導改善への利便性

膨大なログの中から「指導に必要な情報」を AI が要約・分析して提示する機能の使い勝手。